

2022年5月1日現在

国際交流

■オーストラリア 夏季短期留学（英語）

貞静学園短期大学では、オーストラリアへ夏季短期留学を実施している。オーストラリアにおける幼児教育・就学前プログラムの計画立案などを学ぶことができる特別プログラムにより行われている。2019年度より、選択科目としてカリキュラムに組み込まれ、単位化された。

■韓国 東洲大學校

大韓民国の東洲大學校と、教員及び学生の交流をはじめとする広範な学術交流を目的とした「学術交流協定書」を平成24年4月27日に締結し、平成25年より、3月に教員及び学生を派遣している。

■留学生数及び海外派遣学生数

	2018年度		2019年度		2020年度	
留学生 受入数	0名		0名		0名	
オーストラリア クイーンズランド大学附属語学学校 (～2019年度)	13名	5.0%	15名	6.4%	0名	0%
グリフィス大学(2020年度～)						
韓国 東洲大學校	16名	6.3%	0名	0%	0名	0%

※新型コロナウイルス感染症の影響により2020年3月以降の海外派遣を中止しており、2021年度においても海外派遣は全て中止した。

社会貢献活動

(1) 公開講座

公開講座を開講し、地域住民をはじめとする人びとに本学における研究教育活動の成果を還元している。特に生涯学習に関する文京区の外郭団体である「財団法人 文京アカデミー」との連携により、講演会、キャリアアップ講座（福祉住環境コーディネーター講座）等を行っている。

[2021年度公開講座]

開催時期	講座名	開催回数
前期	楽しい生け花	土曜日 全8回
	楽しいフラダンスレッスン	金曜日 全10回
後期	楽しい生け花	土曜日 全8回
	楽しいフラダンスレッスン	金曜日 全10回

[アカデミア講座]

財団法人 文京アカデミーとの連携により、講座を開催し、好評を得ている。

[2021年度開催]

講座名	開催日
[夏休み子どもアカデミア講座] ・「紙立体でキャンドルづくり～未来都市出現!?!～」 ・「バランスの達人 ～スラックラインと伝承遊び～」	土曜日 各1回

(2) ボランティア活動

①東京都障害者スポーツ大会

毎年5、6月に開催される東京都障害者スポーツ大会に、学生がボランティアとして参加している。本学保育学科の学生は保育者をめざしており、全員施設実習を経験する機会があり、障害者の方を支援する立場を学んでいるため、積極的にボランティアの参加を呼びかけている。ボランティアの募集は、授業科目「体育講義」内での障害者スポーツの紹介、昼休み時間等を利用したボランティアへの参加等で行っている。本学での単位取得に関わりはなく、真に学生の自主的な意思による参加となっている。

ボランティアスタッフとしての仕事内容やマナー等を事前の説明会で十分に説明し、大会当日に備えている。仕事内容としては、陸上競技のハガー係、受付、表彰、審判員補助、卓球競技の得点係、審判補助、水泳競技の召集、誘導係などを行う。

ボランティア後の感想として、障害者スポーツのことを深く知ろうという思いや障害者の方への接し方などを学ぶことができたなどが挙げられ、参加した学生にとっては貴重な体験となっている。

②オレンジリボン運動

「オレンジリボン運動」は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。その中で、若い世代にも児童虐待問題に関心を持ってもらうことを目的とする「学生によるオレンジリボン運動」が、全国で約70の大学等で実施されております。

2016年度実施された「学生によるオレンジリボン運動」全国大会に本学も参加し、大学祭でのオレンジリボンに関する自作のパネル展示、自作のオレンジリボンを配布など、活動について発表を行った。

大学間連携

実施なし

産官学連携

(1) 文京区子育て支援員基本研修の開催（文京区よりの委託）

文京区及び文京区社会福祉協議会による「文京区子育てサポーター認定制度」の創設に伴う「スタンダードサポーター認定研修」実施のうち、「子育て支援員基本研修カリキュラム」を文京区より受託した。

2021年度開催日程等は、以下の通りである。

開催日	時間	会場	内容
7/10、7/11	9:30 ～16:30	貞静学園 短期大学	①子ども・子育て家庭の現状 ②子ども家庭福祉 ③子どもの発達④保育の原理 ⑤対人援助の価値と倫理 ⑥児童虐待と社会的養護 ⑦子どもの障害⑧総合演習
9/28、9/29			

(2) 文京区「災害時おなかの中の赤ちゃんを守るプロジェクト」協定への参加

平成24年度に災害時における妊産婦及びその子どもたちの保護を目的とする文京区による「災害時おなかの中の赤ちゃんを守るプロジェクト」に参加し、本学の施設設備及び教職員並びに学生といった人的資源を妊産婦及びその子どもたち専用の避難所等に活用することとした。

(3) 文京区と「相互協力協定」を締結

平成 25 年 1 月に、相互協力による本学の学術研究の発展及び人材育成の充実と、それを活かした文京区の地域社会の発展を目的として、文京区と相互協力協定を締結した。

さらに、文京区ハートフル工房 in TEISEI として、文京区内障害者施設利用者の手作り物品の販売を行った。